

学研都市記者クラブ、京都府政記者クラブ、奈良県政記者クラブ、
大阪経済記者クラブ、京都経済記者クラブ

(14 : 00 同時配付)



けいはんな
学研都市

報道関係各位

平成29年9月25日

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
RDMM支援センター

海外の産学官連携組織との連携協定の締結について 9/28、カナダ・タイの産学官連携組織と交流を推進

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構（けいはんな学研都市（京都府相楽郡精華町）、理事長 柏原康夫）RDMM 支援センターは、CMU STeP（タイ王国チェンマイ県、チェンマイ大学サイエンステクノロジーパーク）および JRUs（カナダ・ケベック州、ラヴァル大学 都市科学共同研究ユニット）とイノベーション推進を図る国際連携支援体制の構築を目的とした交流推進に関する連携協定を締結することとなりました。 つきましては2017年9月28日に調印式を執り行いますので、ご取材いただきます様お願い致します。

【連携協定調印式の概要】

第1部) ラバル大学 都市科学共同研究ユニットとの連携協定締結式

- ・日時：2017年9月28日（木） 15:00～15:30
- ・場所：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK） 3F 会議室
京都府木津川市木津川台9丁目6番地／京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1

・協定締結者

Joint Research Unit in urban sciences

（略称 JRUs、ラバル大学 都市科学共同研究ユニット、カナダ・ケベック州）

ディレクター・教授 セバスチャン・トレンブレイ 氏

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

常務理事 中川 雅永（なかがわ・まさのり）

・協定内容

趣旨：最新テクノロジーの活用連携による R&D 効率化

連携分野：都市工学、社会工学分野での共同研究開発、人材交流、シンポジウム・
セミナー等

期間：2017年10月から5年間

第2部) チェンマイ大学 サイエンステクノロジーパークとの連携協定締結式

・日時：2017年9月28日(木) 15:45~16:15

・場所：けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) 3F 会議室

京都府木津川市木津川台9丁目6番地/京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1

・協定締結者

Science and Technology Park Chiang Mai University

(略称 CMU STeP、チェンマイ大学 サイエンステクノロジーパーク、タイ王国・チェンマイ県)

ディレクター・事務局長 タニヤヌパー・アナンタナ 氏

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

常務理事 中川 雅永 (なかがわ・まさのり)

・協定内容

趣旨：R&D コストパフォーマンス、タイムパフォーマンス向上

連携分野：IoT、自動運転、農業実験等での実証実験フィールドの構築と共同研究開発、人材交流、シンポジウム・セミナー等

期間：2017年10月から5年間

【連携組織の概要】

CMU STeP

(チェンマイ大学サイエンステクノロジーパーク) [タイ王国・チェンマイ県]

チェンマイ大学の専門的なワンストップサービスセンター、STeP (Science and Technology Park Chiang Mai University、サイエンス・テクノロジーパーク)は、国際組織との研究開発支援を含む産学間連携を推進し、事業化の達成や、スタートアップ企業の起業支援を実施。更にタイ北部の七つの大学発サイエンスパーク (NSP) プロジェクトを統括し、事業化に向けた研究を強化し、様々なプロジェクトや活動を通じて、地域のイノベーション推進システムの構築と支援を行う。

JRUusu (Joint Research Unit in urban sciences)

(都市科学における共同研究ユニット) [カナダ・ケベック州]

カナダ・ケベック州のラヴァル大学に設置された、高度で持続可能な都市の発展を取り巻く、産業界、政府、学会の各組織を束ねたユニークな研究実施とイノベーションネットワークの形成を担う組織。・ラヴァル大学、ケベックシティ、ケベックハイδροハイテクパーク、タレスリサーチアンドテクノロジーカナダ (TRT)、州立学術研究学院 (INRS)、その他数多くのステークホルダーとの協力の下で活動。優秀な人材の育成を支援しながら、都市科学の分野における共同研究とイノベーション活動のネットワーク化の促進を図り、都市科学分野における新たなビジネスを創出。

【海外連携に関して】

RDMM 支援センターでは、イノベーション推進のためのグローバル連携を課題の1つとしており、最新テクノロジーの活用連携による R&D 効率化を目的として、Inter-University Microelectronics Center、略称 imec、ベルギー) と 2017 年度から交流を進めています。具体的には本年 11 月から imec の招待講演や、各分野での具体的な連携内容の検討を予定しています。今回カナダ、タイとの連携により、欧州・北米・アジアとの連携が実現することで、けいはんな学研都市のグローバルなオープンイノベーションを具体的に開始し、時差を利用した 24 時間体制での共同研究開発も可能になります。

【参考】

■ 「RDMM 支援センター」

持続的にイノベーションを創出する連携のハブ (hub) 組織で、マーケットを常に見据えながら、サービスを含むものづくりや新事業・新産業創出の加速に向け、企業や大学、公的機関等の連携によるオープンイノベーションを基軸に、研究開発から事業化までワンストップで支援する組織です。RDMM は Research(研究)& Development(開発) for Monodzukuri(ものづくり) through Marketing(マーケティング)の略で、未来社会や市場の予測、マーケティングに軸足を置くことで、研究開発・事業化の加速を目指す事を理念としています。

■ 「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」

RDMM 支援センターが主催・運営するコンソーシアム活動で、会長に大阪大学総長の西尾章治朗先生、副会長に推進機構の柏原理事長、技術運営員会委員長に京都大学の石田亨先生をお迎えし、2017 年 9 月現在、74 会員 (企業 53 社、他 21 会員) が参画しています。参画企業の優れた知の融合を図りつつ、新産業・新事業創出に向けたワーキング活動や共同研究開発プロジェクト等の取り組みを行っています。(会員登録等は無償で提供しています。)

■ 本件に関するお問合せ :

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 RDMM 支援センター

担当 : 副枝 (そえだ)、佐竹 (広報)

<https://www.kri.or.jp/rdmm/>

Tel : 0774-98-2236 / FAX0774-98-2202 / e-mail : rdmm@kri.or.jp

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 1 丁目 7 けいはんなプラザ ラボ棟 3 F